

経営一転語 85 大切なことは「コスト」ではなく、「収益」である

「コスト病」というものがあります。この病は会社の中で、最も危険な病のひとつです。

この病気にかかると、必ず製品やサービスの品質が落ちますし、会社の中で、一番大切なものは、「コスト」になってしまい、お客様サービスにかかる経費などが真っ先に削られてしまい、お客様を怒らせたり、お客様の信頼をなくしてしまうものなのです。

極端な場合には、「コスト病」が会社をつぶしてしまうほど恐ろしい病なのです。

不況が25年間も続いている状況における現代の中小企業においては、削れる経費などほとんどありません。

そんな状態の中、必要なものまで削っていけば、必ずや弊害が出てきて、信用を失い、倒産へと向かってしまうのです。

コスト病患者には、一のコストを削ることにより、十の収益、百の信用を失っても、まったくコスト以外には関心がなくなってしまうます。

大切なことは、コストではなくて、「収益」なのです。「収益」をあげることこそ、会社を永続的に存続させる道なのです。

この「コスト病」にかかっていないか、我が社を点検してみましよう。